



京丹後市夢まち創り大学

京丹後市役所 市長公室 政策企画課
青木 滉人



00. introduction

自己紹介



青木 滉人

あおき

ひろと

■年齢：27歳 入庁3年目

■出身：滋賀県草津市

大学



地元の方と米作り

■ 龍谷大学政策学部 今里ゼミ（夢まち創り大学）

■ 「宇川」で毎月合宿

■ 米作りや観光動画作成

■ 「京丹後」や「地域」に興味を持つ

大学院



観光パンフレット制作



朝市「宇川金曜市」の運営

■ 仕事（宇川）と大学院（京都市）の2拠点生活

金土日は宇川、月火水木は大学院

■ 朝市の運営、移動販売、SNS広報を担当

■ 修論「新しい地域コミュニティの形成・運営に

おける課題と展望：京丹後市を事例として」



01. 京丹後市について



京丹後市の概要



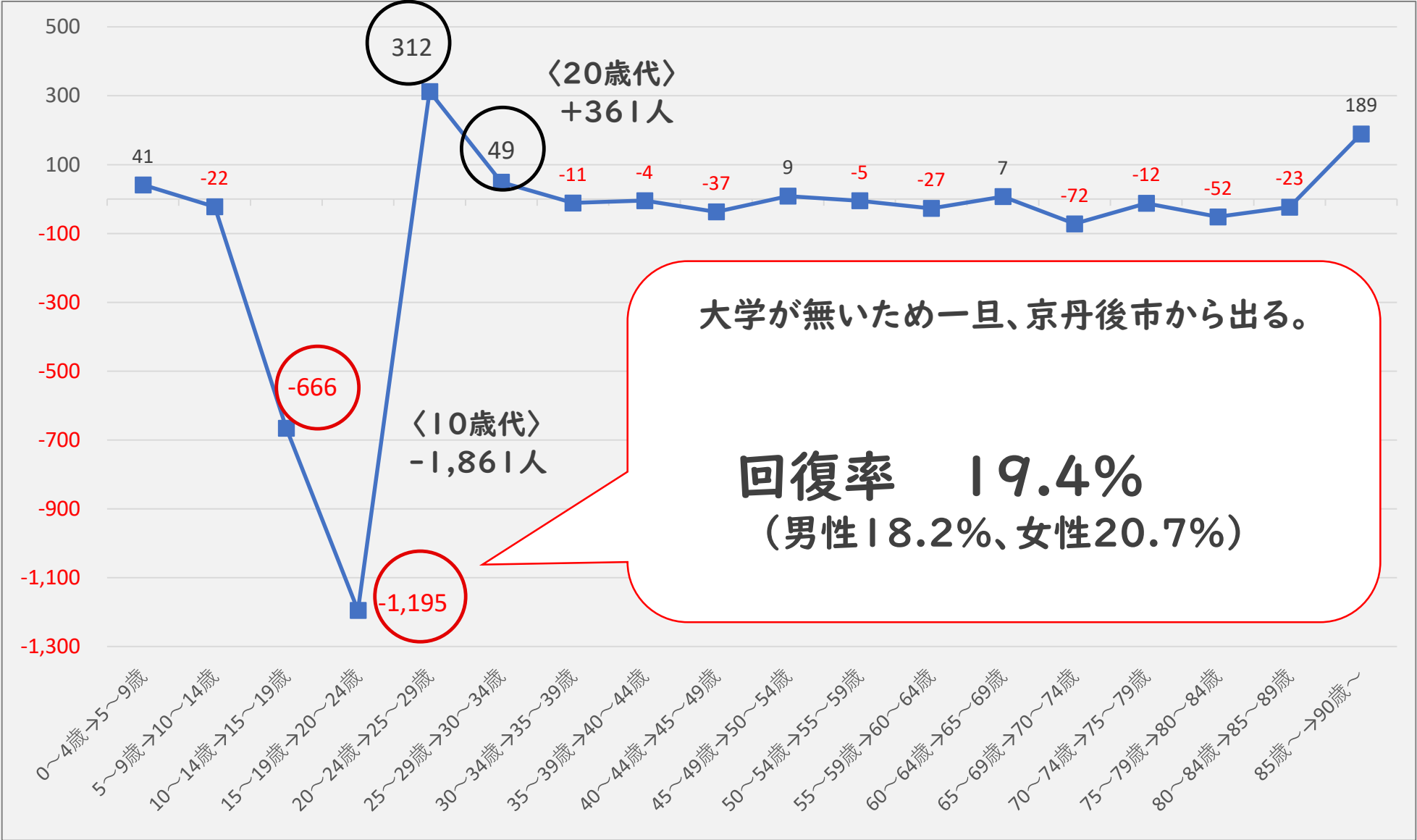
■ 面積・人口等

■ 面積	501.43平方キロメートル
■ 人口	<u>49,956人</u> （令和7年1月時点）
■ 世帯数	22,937世帯
■ 高齢化率	<u>37.8%</u> （65歳以上・令和7年1月時点）

○京丹後市は京都府の最北端のまち。丹後半島に位置し、東西約35km
南北約30kmの広がりを持っています。

○沿岸部は山陰海岸国立公園、丹後天橋立大江山国定公園に指定。
内陸部には標高400～600mの山々が連なっています。

課題：若者の流出





02. 京丹後市夢まち創り大学

京丹後市夢まち創り大学とは

キャンパスのない仮想大学。地域が学びの場。

大学：地域をフィールドに研究・活動できる

地域：大学生の活力、専門性を地域づくりに活かせる

市：まちを知ってもらうきっかけに（移住・就職）



参加大学

R6活動大学一覧

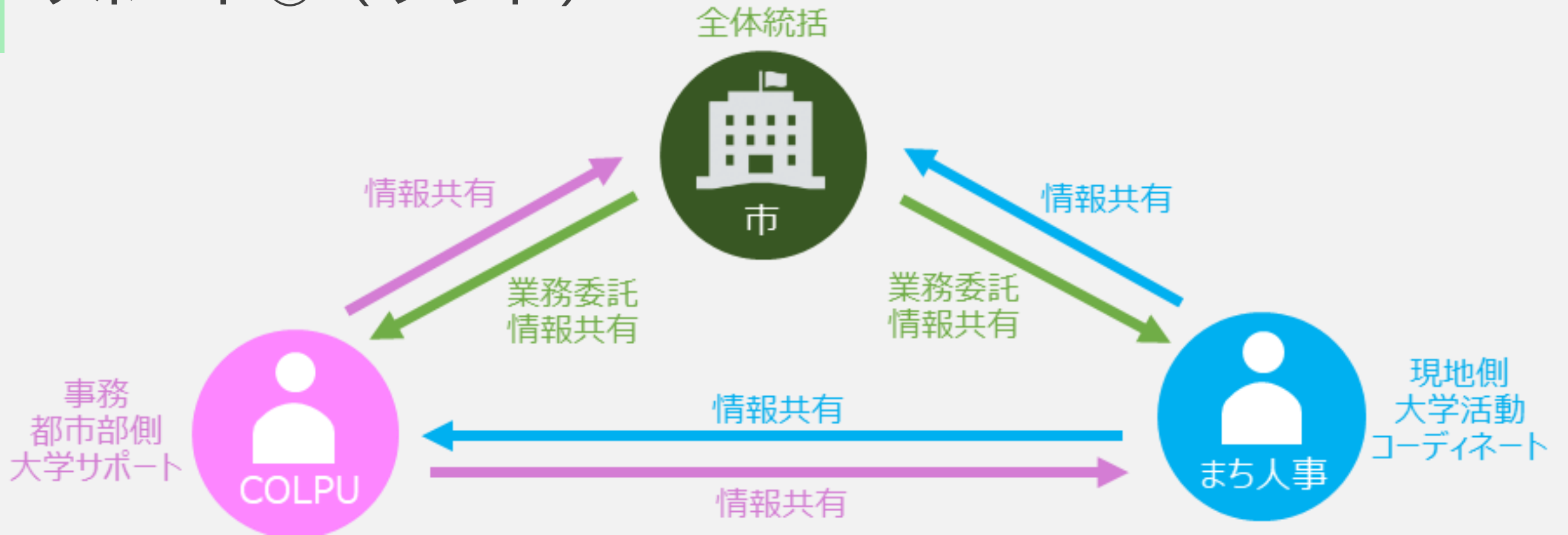
No.	大学・学部	担当教職員	活動地域
1	龍谷大学 政策学部	谷垣岳人 准教授	大宮町三重・森本
2	龍谷大学 政策学部	今里佳奈子 教授	丹後町宇川
3	龍谷大学 政策学部	石原凌河 准教授	大宮町口大野
4	龍谷大学 短期大学部こども教育学科	野口聡子 教授	大宮町奥大野
5	龍谷大学 政策学部	只友景士 教授	大宮町
6	京都府立大学 教職センター	松村千鶴 特任教授	丹後王国ブルワリー・野木源
7	大手前大学 現代社会学部	谷村要 教授	市全域
8	大手前大学 社会連携委員会	本田直也 教授	市全域
9	大手前大学 建築&芸術学部	今福章代 教授	市全域（織物関連）
10	京都産業大学	若狭愛子 准教授	峰山町
11	大谷大学 社会学部	鈴木寿志 教授	網野町
12	大谷大学 社会学部	野村実 講師	市全域
13	同志社大学・佛教大学	泉川大樹 講師 大束貢生 教授	丹後町間人
14	同志社大学 政策学部	田中宏樹 教授	丹後町
15	同志社女子大学 生活科学部	斎藤朱未 教授	市全域
16	京都外国語大学	宮口貴彰 講師	市全域
17	近畿大学 経営学部	山縣正幸 教授	峰山町

活動実績

	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
プログラム数	12	17	21 (10団体)	24 (12団体)	12 (7団体)	16 (10団体)	13 (9団体)	17 (11団体)
参加学生数	486人	638人	794人	997人	193人	413人	717人	1,118人
バス運行回数	50便	52便	74便	89便	2便	26便	34便	40便
シェアハウス 利用人数	238人	255人	286人	372人	78人	74人	166人	544人

のべ5,000人以上が活動

サポート①（ソフト）



- ・ 京丹後市 → 統括
- ・ まちの人事企画室 → 現地コーディネート
- ・ COLPU → 事務・都市部のサポート

サポート②（ハード）

①大学⇄京丹後市間の 無料送迎

- ・ 定員29名
- ・ バス会社に運行を委託
- ・ 添乗員が同乗



②宿泊施設の提供 （シェアハウス）

- ・ 市が借り上げ
- ・ 丹後町中浜
- ・ 定員20名程度



活動事例①

龍谷大学 今里ゼミ

- ・ 丹後町宇川地域の活性化が目的
- ・ 今年で10年目

これまでの活動



地域の方と米作り



観光パンフレットの作成



ジビエカレー缶詰の商品化⁶

活動事例②

大手前大学 今福ゼミ

- 染色工芸を学ぶゼミ
- 市内織物事業者協力のもと研修やインターンシップを実施

これまでの活動



染色イベントの開催



インターンシップ

大谷大学 野村ゼミ

- 京丹後市の多様な地域公共交通に関する現地調査

これまでの活動



公共交通イベントを開催



市主催イベント（丹後万博）にも出展

現在の課題

- 予算の確保
- 学生の主体性
- 成果が見えづらい



今後実施したいこと

- ソフト支援の充実
- 個人参加の促進
- 高校生や市事業との連携
- インターンシップの実施



ご清聴ありがとうございました！